



野村 竹内（靖） 佐々木 川崎

「未来志向」と 新しい現実 新しい目線で

みどりの会

代表質問者 竹内 靖人

質問 ↓ ことも企画課は「子ども」の将来にどの様に関わっていくのか。

答弁 ↓ ことも企画課では、保育所（園）と幼稚園を幼児教育の視点で捉え、総合的な推進を図りたい。

保育所の建設や公立保育所の民間委託等も推進をしていく。また、児童相談や児童虐待等の要保護対策に対し、窓口や相談体制を充実させ、関係機関と共に対応をしていきたい。

質問 ↓ 地産地消は食べ物だけでなくエネルギーの地産地消として森林資源を利用したペレットストーブをCO₂の削減からも公共施設への導入を提案したい。また、食品残渣（生ごみ等）は経費をかけて燃やすのではなく、集めてエタノール燃料にして公用車等に利用し、行政負担を減らす考え方や将来に負担を減らす工夫は、「今」やらなければならぬと思うが。

答弁 ↓ 食の安全安心には国内産、近隣地域産、地元産へとシフトチェ

ンジする必要はある。

答弁 ↓ ペレットストーブはCO₂削減に効果があり設置については法令適合や用途・構造等の課題はあるが検討の余地があると思われる。

答弁 ↓ 生ごみは様々な発生抑制に取り組んでいる。現在、堆肥化・資料化・バイオガス化・エタノール化等のリサイクル方法や最適実施主体について、他都市や国の動向を注視しているところである。

答弁 ↓ 焼却ごみの減量、発生抑制には困難を伴うが、市民の方々のご理解と協力をお願いしたい。

質問 ↓ 救急医療（特に二次）の劣化や崩壊が心配されるが対応は。

答弁 ↓ 市の二次・三次救急は同等他市と比較して充実している。しかし、救急時間帯に軽症の人が多く実態がある。医師・看護師不足があり危機感を持っている。医療従事者確保のため、「市救急医療対策協議会」や県と共に努力していく。

質問 ↓ 「しあわせ大団・つやま」の実現に向けて身体的弱者の立場に立って、市役所「東」入り口の改善を総合福祉会館への階段も含め、早急に改善をすべきと思うが。

答弁 ↓ 研究を行ってきたが、物理的に課題があり、改修は困難と考えているが市役所は市民のサービスの拠点であり、利用しやすい庁舎として引き続き研究をしていく。

質問 ↓ 引きこもりの方の社会復帰のためのサポートと、障害者福祉計画で平成二十三年までに六十一人予定している、精神障害で長期入院されている方の退院促進の現状と進め方は。

答弁 ↓ 引きこもりは増加傾向にあり苦慮しているが関係機関が連携してサポートに取り組んでいる。現在、計画に基づく退院促進は「ゼロ」だが、二十年度から本格的に取り組んでいきたい。